

ほけんだより 保護者様へ



いのうえすずか こうえんかい
もうすぐ井上鈴佳さんの講演会です!



来週 2/17(月) はレズビアンの方の井上鈴佳さんの講演会です。LGBT に関すること、性の多様性に関すること、6年生の授業をされた後、保護者や教職員相手にも講演会をしていただきます。

LGBT ってなに? 聞いたことあるけど、はっきりとはわからない・・・



性の多様性っていわれても、難しい・・・

自分には関係ないでしょ?

と、思われているかもしれませんが、性の多様性に関しては、とてもナイーブな面もありますが、いったってシンプルに考えることもできます。自分には関係ないと思うかもしれませんが、男らしさ、女らしさにとらわれていた、親の皆さんにとっては、「自分らしさ」を表現するのも、性の多様性につながることです。「自分らしく」生きていращやる、井上鈴佳さんのお話を聞きにきませんか?

参加表をだしてなくても、かまいません。ひとりでも多くの方に聞いてもらいたいのので、当日、

16時より図書室にて、お待ちしております。(^^)

性の多様性についての授業をしました!

1年生には「タンタンゴはパパふたり」という絵本を読み、「パパがふたり」ということについて、考えてもらいました。実際にいたペンギンのお話だと伝えると、子どもたちは、驚いておりました。他の動物にも同性でカップルになるし、人間も同じだよ。と伝えておきます。「男の人が男の人を好きになっていいんだ」などの感想を書いてくれました。

2年生には、「くまのトーマスはおんなのこ」という絵本を読みました。くまのトーマスは男の子とわかっていたのですが、友達のエロールに「実は女の子でティリーという名前がいいんだ」と打ち明けてくれるお話です。子どもたちは、「とってもいい話だった」「自分がもし、友達にそう打ち明けられたら、エロールのようにやさしく話を聞いてあげたい。」など感想に書いてくれました。

3年生には、井上鈴佳さんが作ってくださった「ぼくはそらくん からだはおんな」という紙芝居を読みました。そらくんの心には男の子も小さい女の子もいて、体と心の性別が違うことや、自分らしい服装・色を選べなかったことに悩んでいました。子どもたちは「そらくんは大変だったけど、今は幸せそうで良かった」「そらくんみたいに悩んでいる人がたくさんいるのだと知った」など感想に書いてくれました。

4年生には、「男らしく、女らしくがいいの?」というNHK for school の動画を見てもらいました。男や女らしくではなく、「自分らしく」とはどういうことか、自分の性を決める4つの要素を伝え、少し考えてもらいました。「体・心・表現・好きな人」の性は人それぞれだし、グラデーションになっているから、男女に分けず、自分らしい性で良いという話をしました。「女だけど、男らしくいてもいいと知った」「自分らしくって大切」「好きな事を好きなようにできるこれが大事なんだと思った」など感想に書いてくれました。

5年生には、まだ行えていませんが、3月に行う予定です。また、授業後、お知らせいたします。

1~4年生には、同様に、「LGBT」の方たちの紹介もしました。1年生でも「男らしく女らしくじゃなくて、自分らしくしたらいいと思う」「自分の好きなように生きてほしい」など、感想に書いてくれました。

なぜ性の多様性の話をするのか・・・という声もあるかと思いますが、これは、当事者たちの問題というわけではなく、多くの方が「男・女」というイメージを取り払い、「自分らしく」生きることによって当事者の生きづらさをなくしていきたいという思いで行っております。どうか、ご理解いただけると幸いです。